

## 久我山だより

平成 29 年 7 月 20 日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

## 自立・体験・感動の夏休みに

校長 筒井 鉄也

私の小学生の時の夏休みの思い出といえば、毎年、家族全員で海水浴に行ったことです。なかなか休みの取れない父だったので、早朝から車に乗って海に出かけ、夕方に帰路につくというあわただしい日程ではあったのですが、とても楽しく、今でも夏が来ると思い出します。

海に行く前に宿題を済ませておこう、家の人に叱られないようにしようなどと子どもながらに考え、当日を迎えたこともよき思い出です。



皆様は、「夏休み」というとどんなことを思い出しますか。もちろん、楽しいことばかりではなく、苦しかったこと、辛かったこと、失敗してしまったことなど、思い出したくないこともあるかもしれません。

そのようなことも括って考えてみると、やはり、夏休みというのは、自立の場であり、体験の場であったのではないかと思います。



二学期になると、夏休みの自由研究が廊下に展示されます。どれも素敵な作品です。自立と感動、そして、親子ふれあいの証のようにも見えます。作品の優劣ではなく、そこに作品が出来上がったということが、それぞれの子どもの体験の夏のすばらしい思い出を醸し出すものとなっています。

本年度は、7月21日から8月30日の41日間にわたる夏休みとなります。

毎年、夏休みの痛ましい事故が報道されます。海や川、山などでの事故はもとより、交通事故の防止にも努め、充実の夏休みとなることを祈念しております。8月31日、始業式で再び笑顔で会えることを教職員一同、楽しみにしております。



8月31日に思いを馳せて…

忘れもの

高田敏子

入道雲にのって  
夏休みはいつてしまった  
「サヨナラ」のかわりに  
素晴らしい夕立をふりまいて  
けさ 空はまっさお  
木々の葉の一枚一枚が  
あたらしい光とあいさつをかわしている  
だがキミ！夏休みよ  
もう一度 もどってこないかな  
忘れものをとりにさ  
迷子のセミ  
さびしそうな麦わら帽子  
それからぼくの耳に  
くっついて離れない波の音

(「国語」四年上かがやき 光村図書より)